

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記4

国立市立国立第七小学校

平成28年5月18日 NO.14 (314)

オー君 「あ！オオバコだ。ねえ、花ちゃん、オオバコ相撲<sup>すもう</sup>をやろう。」

花ちゃん 「いいわよ。ぜったいに勝<sup>か</sup>つわよ。」

モンタ博士 「よしよし、二人とも仲良<sup>なかよ</sup>く遊<sup>あそ</sup>んでいるね。」

花ちゃん 「オオバコって、あちこちにあって、遊<sup>あそ</sup>ぶのにいいですね。」

モンタ博士 「そうだね。オオバコは、ふつうによく見<sup>み</sup>られる植物だね。でも、たくさんあるといっても、よく見<sup>み</sup>たことはあるかな。じっくりと見<sup>み</sup>たことはあるかな。」

オー君 「そうですね。そう言<sup>い</sup>われれば、あまりゆっくと見<sup>み</sup>たことないなあ。そうだ。花ちゃん！今日<sup>きょう</sup>は、オオバコについて調<sup>しら</sup>べてみよう。」

花ちゃん 「そうね。ところで、オオバコの花<sup>はな</sup>って、どんな花<sup>はな</sup>だったかな。」

オー君 「植<sup>しょくぶつ</sup>物<sup>はかせ</sup>博士の花<sup>はな</sup>ちゃんがわからないんじゃ、こまっちゃうな。」

モンタ博士 「花<sup>はな</sup>ちゃんがオオバコの花<sup>はな</sup>がわからないのも、無理<sup>むり</sup>ないよ。だって、オオバコって、花<sup>はな</sup>びらもないし色<sup>いろ</sup>もないんだ。」

オー君 「オオバコって、花<sup>はな</sup>はないの。」

モンタ博士 「めだたないけどあるんだ。茎<sup>くき</sup>に小<sup>ちい</sup>さな花<sup>はな</sup>がたくさん集<sup>あつ</sup>まっているんだよ。メスの花<sup>はな</sup>は、茎<sup>くき</sup>の上<sup>うへ</sup>のほうにあってね、1本<sup>ほん</sup>のめしべをのばしているんだ。オスの花<sup>はな</sup>は、その下<sup>した</sup>にあって、4本<sup>ほん</sup>のおしべをだしているのさ。」

花ちゃん 「それで、どんな実<sup>み</sup>ができるんですか。」

モンタ博士 「カプセルみたいな形<sup>かたち</sup>をしていてね、上<sup>うへ</sup>のふたがパカッとあくんだよ。それで、種<sup>しゅ</sup>がこぼれるということさ。」

オー君 「こぼれるだけじゃ、仲間<sup>なかま</sup>はあんまりふえないよ。タンポポみたいな綿<sup>わた</sup>毛<sup>け</sup>はないみたいだし、それに、オナモミみたいにとげとげもないよ。」

モンタ博士 「そこでだ。オオバコはすごいことを考<sup>かんが</sup>えたのさ。種<sup>たね</sup>が水<sup>みず</sup>をすうと、変<sup>へん</sup>身<sup>しん</sup>して、まわりにベトベトしたゼリーのようなものをつけるのさ。それで、クツのそこにくっついたりして、あちこちに運<sup>はこ</sup>ばれるというわけなんだよ。」



### **オオバコをつぶやき(メタボリック解消には、オオバコダイエットなどいかが！)**

私はオオバコ。あちこちにあるわ。知らない人はいないでしょう。でも、私にはいろいろな秘密や不思議があるのよ。私を道端で見つけた人は多いと思うけど、薬屋さんやドラッグストアで見かけたことあるかな？オオバコの葉っぱとクッキーの絵がかいてある健康ダイエット食品なのよ。

私の種子の外皮にはプラントザンという粘液質の繊維成分をふくんでいるのよ。この成分には、多量の水を吸収してゼリー状に膨潤するおもしろい性質があるの。紙おむつと同じ原理ね。もう気がついたかしら。わかったわよね。つまり、オオバコのクッキーを食べると、プラントザンという植物繊維の成分が、水分を含んで約40倍にふくれるわけ。だから、少し食べただけでも、満腹感がでるといこと。つまり、食べ過ぎないということで、メタボリック解消にはもってこいということね。おまけけど、この粘液質が接着剤の役目を果たすのよ。そんでクツやタイヤについて、どこまでもどこまでも運ばれるのね。

**運動会まであと数日・・・ご家庭での健康管理よろしく！全員参加の運動会にしましょう！**